



学校だより 11月号

か さ ま

令和3年10月29日

No.486 横浜市立笠間小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kasama/>

【学校教育目標】 かがやくひとみ さわやかえがお まごころいっぱい かさまの子

わたしたちのまち KASAMA

～まちのこと・学校のことを知り、もっと好きに～

校長 中里 純子

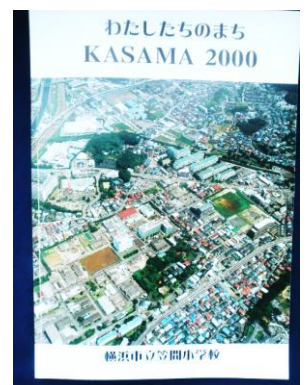
笠間小学校に一通の手紙が届きました。笠間小学校の近くに長い間お住いの方からです。現在27歳になる娘さんが4年生の時に笠間小学校に転入し、卒業されたそうです。手紙の一部を紹介します。

先日、何か児童書など本の情報はないかと栄図書館に立ち寄ったところ、栄区内の学校の創立記念誌のコーナーで、ひときわ目立っていたのが笠間小学校20周年記念誌「わたしたちのまち KASAMA 2000」でした。この本は、表紙から2000年当時の学校付近のカラー航空写真が使われ、中身も笠間や大船地区の歴史を、貴重な古地図、写真などをたくさん使ってかみくだいて説明したうえ、さらに当時の農家や工場など近隣の取材もつくして、まちがいなく児童にとって一級品の学習資料です。さらに、この地域に住む成人にとっても今でも読んで楽しい貴重な郷土資料になっています。発行当時の教員のみなさまの大変なご努力で、よくぞここまでやりとげたものだと、痛く感心いたしました。～中略～ 笠間小学校付近は現在も大きな変化を続けています。そんな中で2000年当時にとりまとめられた笠間小学校の記念誌は、本当に価値があると思います。

思いがけずいただいたお手紙に私はとても感動し、早速この記念誌を捜し始めました。ありました。校長室の戸棚の中にあるのを見つけ、手に取ってみました。お手紙に書いてある通りです。笠間のまちの様子や学校の歩みなどが丁寧にかかれています。「田立」や「笠間」の名前の由来。



学校にあるトンボ池は20周年を記念してつくられたことや、実はイルカの形をしていることも知りました。私もこの大船付近には、小さい頃から馴染みがあります。時間がたつのも忘れてすっかり読み耽ってしまいました。



今年度、総合的な学習の時間を使い「笠間小のいいところをたくさん見つけて、みんなに紹介しよう」というプロジェクトを企画しているクラスがあります。とてもよい取組だと思えます。子どもたちには、笠間小のよさをたくさん知って大好きになってもらいたい。それと同時に、学校を取り巻く笠間のまちのよさもたくさん知って大好きになってもらいたいと思っています。そのためには、今のことを知るだけでなく、昔からの歩みやそこにある人々の思いを知ることがとても大切です。今後もまちの方々のお力をお借りしながら、笠間のまちや学校を愛し大切に育てて参りたいと思います。